

会 議 録

会 議 の 名 称	令和7年度 第3回朝霞第四小学校学校運営協議会	
開 催 日 時	令和7年11月21日(水) 11時00分から12時40分まで	
開 催 場 所	朝霞市朝霞第四小学校 会議室	
出 席 者	・井上 典子 ・坂本 知里 ・一圓 みさき ・芳村 聡子 ・江藤 さつき ・原口 憲充 ・山崎 克昇 (司会・記録:原口 憲充)	
会 議 内 容	(1)本校の課題について (2)ふれあい推進事業について (3)来年度以降のよつばの会について ※給食試食会に参加 12:00~12:40	
会 議 資 料	ふれあい推進事業報告 よつばの会関係	
会 議 録 の 作 成 方 針	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input checked="" type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管(保存年限 年)	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後○か月
その他の 必要事項	会議録の確認方法 司会・記録による確認	

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、結論等)

1 開会の言葉 開始 午後2時00分 途中14:45 1分間の黙とう
教頭

2 委員長あいさつ(井上 委員長)

ふれあい推進事業を終えた。例年と異なる実施法(講演会)で、心配される点多かったが、結果的にはふれあい推進の趣旨を踏まえた取組となった。

3 学校長挨拶

ふれあい推進事業に関してのご協力に感謝します。

4 協議

(1)本校の課題について

校長:現在、登校はできるが教室に入れられない児童のため、SSR「心の本棚」と名付け部屋を設置している。わずかな時間だけ、終日過ごす児童など様々だが、2年生4名、5年生2名が利用している。

スクールサポートスタッフの小川さんが自分の仕事をしながらと、校長・教頭が見守っている。10月からグランプで民生・児童委員の原さんが支援を手伝ってくれている。また、一圓委員、坂本委員、その他の民生・児童委員の方々にもお願いしているところである。

一圓:子供の心のケアも含め、支援し教室につなげたい。担任と連携できるとよい。

委員長:中学校は「さわやか相談室」があるが小学校はこれまでなかったため、不登校支援に有効と思われる。

坂本:中学校のものとは異なるが、可能な範囲で支援したい。

(2)ふれあい推進事業について

校長:ふれあい推進事業の報告(別紙のとおり)をした。PTA や地域の方からの参加が少なかった。あり方に課題が残る。校区をさらに細分化し、学校ごとに行ってはどうか。

山崎:高齢化が進む中、確かに以前のように地域ができるかは疑問。形を変えていく必要性を感じる。

(3)来年度以降のよつばの会について

江藤:来年度のよつばの会について、活動内容や役員編成を改変したい。

執行部のなり手不足により、来年度の活動が危ぶまれている。存続させるために今年度中に役員募集をかけていく。そのためには多くの保護者に理解を求めながら、参加しやすい状況を築き上げていく必要がある。

・費用を抑える。・代表制の撤廃 ・会費や備品の管理の簡素化 ・執行部の人数を増やす。など

校長:ふれあい推進事業を終えて、やはりPTA 組織の支えが必要である。また、保護者にもっと学校の様子などを知ってほしい。学習支援も保護者にできること。ぜひこの取組を成功させたい。

芳村:現役保護者以外の「花植え」「草むしり」「読み聞かせ」などの学校応援団も併せて活性化させていくとよい。

※給食試食会に参加 12:00~12:40

よつばの会が中心になって給食試食会を実施。学校運営協議会の実施日と合わせた。

委員も参加し、栄養教諭の講演を聴き給食を試食した。

5 閉会の言葉 午後1時50分散